| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名称： | ファイナンシャルプランニング演習Ⅲ | | |
| 担当者名： | 北川良徳 | | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 | |
| 専門教育科目 | 演習 | 1 | |

**授業の目的・テーマ**

この授業では、演習Ⅱ後半での2段展開から、①FP3級プランニング技能士合格者には更にレベルアップして、FP技能士実務力となる2級FP技能士レベルの知識と対応力を取得してもらう目的で、②演習Ⅱで3級取得にもう1歩及ばなかった方に再度取得に向けて学んでもらう取組を継いで、①②共更に知識を深めて、FP技能士資格取得により、各人が生活経済知識をマスターしているという自信を持って、就活し卒業・就業、社会で活躍する個人となる。

**授業の達成目標・到達目標**

具体的には、演習Ⅱの終盤に授業開催日程と受講可能日程をすり合わせして、授業を展開。夏季休暇中の集中授業を開催して、9月第2周実施予定のFP技能士検定にて2級or3級を受験者全員が獲得できるよう展開する。試験翌日に集合し自己採点、検討の上演習Ⅲの授業終了とするものです。（正規合否発表は10月下旬）

| ビジネス実務学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|---|---|---|
| DP(1) | 自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。 | |
| DP(2) | 地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。 | ○ |

| 評価方法／ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ<br>小テスト | 提出課題<br>（レポート含む） | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| ビジネスDP(1) | | | | | 0 |
| ビジネスDP(2) | | | | | 0 |
| ビジネスDP(3) | 90 | | | 10 | 100 |
| | | | | | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
|---|---|---|
| あり | 《内容１》<br>ファイナンシャルプランナー | 《経験年数１》<br>25年 |
| | 《内容２》<br>生命保険・損害保険の相談・設計販売 | 《経験年数２》<br>40年 |
| | 《内容３》FP技能士2・3級受験講習 | 《経験年数３》11年 |
| | 《内容４》市役所のシニア生活相談 | 《経験年数４》3年 |

**備考**

| 評価ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|---|---|---|---|---|
| 授業ごと知識確認問題習得状況 | 問題集からの問題正解度75%以上 | 問題集からの問題正解度60% | 問題集からの問題正解度50％ | 問題集からの問題正解度５０％未満 |
| 学科問題の習得　　度合 | 過去問題の解答対応に確実な選択ができるまで取組 | 過去問題で選択間違いの判断・知識確認 | 問題の解答間違い知識をテキストで見直し | 問題の間違ったところを見直ししない |
| 実技問題習得　　　度合 | 過去問題の解答対応に確実な選択ができるまで取組 | 過去問題で選択間違いの判断・知識確認 | 問題の解答間違い知識をテキストで見直し | 問題の間違ったところを見直ししない |
| 受講取組姿勢 | 積み上げていく不安な知識部分確認 | 解りにくい点を質問し納得に努めている | 数をこなして合格点を取得する取り組み | 知識アップに前向き姿勢不足 |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間（分） |
|---|---|---|
| 第１回　集中授業の説明・知識アップ説明 | 演習Ⅱから継承 | 40分 |
| 第２回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第３回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第４回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第５回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第６回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第７回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第８回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第９回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第10回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第11回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第12回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第13回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第14回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |
| 第15回　説明・問題取組・解説・成否確認 | 3級復習実施・2級追加知識解説 | 60分 |

※授業計画にアクティブラーニングの記載を入れてください
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

過去問試験は、 80%で評価する。　その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業内の取り組み姿勢
※前ページの評価方法と成績評価の方法が一致していない

課題に対してのフィードバック

過去問点、検定問題の採点、授業取組で評価・採点します

教科書・参考書

FP2級合格のトリセツ　テキスト・速習問題集、FP3級合格のトリセツ　テキスト・速習問題集、